

スクール・セクシュアル・ハラスメント

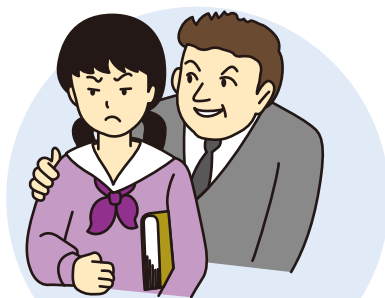
教職員が、児童生徒を不快にさせる性的な言動をおこなうことです。

子どもを一人の人間として尊重しない行為は、子どもが安心して学ぶ権利やその能力を伸ばす機会を失う重大な人権損害です。子どもは先生の人間性そのものを見ています。

スクール・セクハラ



- ・胸や足などをジロジロ見る
- ・身体のことを話題にする



- ・成績や部活動などの評価と引きかえに性的関係を求める



- ・身体をむやみに触る

Tomoko

Q いつ・どこでおこるの？

学校生活のあらゆる場面で起こります。授業中・休憩時間・部活動中・給食やお弁当の時間・遠足・修学旅行・キャンプ・補講・面接の時など、どこでも、どんなときにも起こります。最近はメールのやりとりなどでもその内容が、問題になることもあります。

Q ジェンダー・ハラスメントって何？

「女の子はもっと気が利かないと」「男のくせに、もっとしっかりしろ」「受付やお茶接待は女子でなきゃ」など、何気ない日常の会話で、「女らしく」「男らしく」など固定的な性役割意識に基づいて指導・教育することを言います。男女の区別なく、機会は平等にしましょう。

Q 子どもに相談された時の大人の対応は？

子どもが、思いあまって大人に相談した時に、大人から、「あんまりっぱな先生が、そんなことをするはずがない、あなたの勘違いよ。」などと否定すると、事実が見えなくなります。子どもの話や気持ちをじっくり聴いて、受け止めてあげてください。

Q 被害を受けた子どもからのSOS

急に成績が落ちたり、眠れなくなったり、反抗的になったり、不登校になったりすることがあります。自尊心が損なわれ、自己肯定が持てなくなったりします。

また、今までと変わらないように見えても、心の奥にしまい込んで、心を閉ざしてしまう子もいます。

Q スクール・セクハラを防止するためには？

教職員や保護者に対する防止のための人権研修が一番大切です。そして、子どもたちには、子どもたち自ら、自分を守るための力をつけるために、自分たちの持っている権利を知り、暴力について正しい情報と対処方法を知ることが必要です。

Q セクシュアル・センスって何？

ジェンダーやセクシュアリティに関して、自分の振るまいや発言が差別的な意味を持ったものとして相手に伝わる心配がないかどうか、相手の立場になって考える感性をいいます。差別的な表現や取り扱いを受けたときには、率直にその時の気持ちを表してもよいのです。